

万国の労働者、被抑圧民族団結せよ！ 社共にかわる単一の革命的労働者党を創建しよう！

▶ 今号の内容 ◀

現代修正主義と闘う社会主義の旗を一統一労組懇批判
□横浜市従・民間労働者…2面
安保改定百人委、他…6面
□労働者は刑法改「正」一保安処分粉碎の先頭にたて
……7~8面

1982年

3月25日
第11号
(通巻59号)
8頁 250円

赫 旗

共産主義者同盟中央機関紙

発行所 赤路社

編集・発行人 北沢晋
東京都大田区大森北1-13-11
電話 03(766)4729
郵便振替 東京7-86947
関西赤路社 大阪市福島区大開
1-19-13副島ビル
電話 06(462)7030

毎月10日、25日発行

1980年2月28日

第3種郵便物認可

《定期購読料》

1部・22回

手渡し 3000円

開封郵送 3500円

密封郵送 4000円

労戦の右翼統一・社共の軍縮平和へのにげこみつきやぶり

工場・地域に反戦反安保の旗を



3.21広島行動

革命の準備へ

「82年・平和のためのヒロシマ行動」は約十九万人が結集し、反核・反戦の闘いとして戦後空前の規模をしめすものとなつた。関西、西日本を中心とした労働組合、解放同盟、市民、学生、文学、宗教者、被爆者、反原発を闘う住民、労働者など幅広い層が結集し、八十年代における反戦和平の闘いの高揚とうねりの胎動をしめた。

集会は、午後一時から平和記念公園を主会場に六会場で、被災体験、各団体の挨拶、歌、スピーチなどを幅広く層が結集し、八十年代における反戦和平の闘いの高揚とうねりの胎動をしめた。

このように三・二一広島集会は、米ソを軸とした世界大戦の危機、レーガンの米帝につきしたがる反対同盟などが結集し、国連軍縮会議への請願におしこんとする社共、総評への批判と反戦反安保・反核反原発の眞の反戦闘争を訴え、午後四時から唯一、広島駅まで果敢なデモを行つた。

このように三・二一広島集会は、米ソを軸とし

た世界大戦の危機、レーガンの米帝につきしたがる反対同盟などが結集し、国連軍縮会議への請願におしこんとする社共、総評への批判と反戦反安保・反核反原発の眞の反戦闘争を訴え、午後四時から唯一、広島駅まで果敢なデモを行つた。

このように三・二一広島集会は、米ソを軸とし

素朴な願いひろがる

世界で、反核、反戦、平和を求める声が、ふつふつとわき立ち、巨大なこだまとなつて響いている。迫りくる世界帝国主義戦争、欧洲・中東・アジアにおける限核戦争の危険に対する人民大衆の怒りと、抗議の声に他ならない。

いま、日本においても、われわれの父と母、兄弟・姉妹たちの流した血、受けた傷等、戦争に伴う惨禍・残虐・苦悩の生きた経験と、反戦・平和を求める様々

戦争と真の平和

「反ソ核軍縮」に集約し、举

国一致の愛國主義的官許核軍縮運動にねじまんとしているからである。

これは危険なことだ。人

民大衆の素朴な反核、反戦、

平和の願いが、わが国のブルジョアジーと手先供によ

つて、実際の戦争準備のた

めの軍拡と核武装の道をお

いきくすために、利用さ

れることに他ならない。

なぜならば、現在の核

戦争の危険の元児は、米ソ

を頭目とする帝国主義ブロ

ックにあること。国連が戦

ない。

三・二一広島行動が自民

組織され、「反核」のスロー

ミット等の様々な国際反革

命支配体制の一環であり、

帝国主義の世界のプロレタ

リアート人民を系統的に支

すなわち、世界戦争の今日

これが見地をふまえ、高ま

して、次のように結論しな

ればならない。

反戦反安保の全国共同

チなどが行なわれた。が、平和記念公園で、一時から「原発はごめんだヒロシマ市民の会」呼びかけの実行委員会主催で「反戦・反核・反原発・反軍拡ヒロシマ集会」が約八百名の結集のもと開かれた。この独自集会には、福井、玄海、伊方、らにフランス・ラルザック基地反対同盟、三里塚われた。この独自集会には、福井、玄海、伊方、らにフランス・ラルザック基地反対同盟、三里塚

反対同盟などが結集し、国連軍縮会議への請願におしこんとする社共、総評への批判と反戦反安保・反核反原発の眞の反戦闘争を訴え、午後四時から唯一、広島駅まで果敢なデモを行つた。

このように三・二一広島集会は、米ソを軸とし

た世界大戦の危機、レーガンの米帝につきしたがる反対同盟などが結集し、国連軍縮会議への請願におしこんとする社共、総評への批判と反戦反安保・反核反原発の眞の反戦闘争を訴え、午後四時から唯一、広島駅まで果敢なデモを行つた。

このように三・二一広島集会は、米ソを軸とし

た世界大戦の危機、レーガンの米帝につきしたがる反対同盟などが結集し、国連軍縮会議への請願におしこんとする社共、総評への批判と反戦反

主義の旗を

はじめに

統一労組懇は、同盟・JC派と総評内の民間大単産を中心とした右翼的再編の

の初合同集会を開催し、春闘や労戦統一に対する統一の「申し合わせ」を決めていた。この「あり方懇」は、すでに自治体、教組などの公務員、全通、国労、全電通等の公企体でも発足している。

このことが示すように、旧来の地域統一労組懇運動を、82春闘を踏み台に産業別統一労組懇運動づくりへと軸心を大きく変え、独自の「階級的・民主的ナショナルセンター」確立へとまい進する日共一統一労組懇運動とは何であり、何をめざしているのだろうか。本文は、この目的のために書かれた小論である。

はじめに

統一労組懇談会の前史は、一九六六年十二月、翌年一月にひかえた総選挙のための、日共支持組合による「選挙闘争の経験を交流する懇談会」が始まる。これらの組合は、六年九月十一月に、十二月の総選挙にむけ「日米安保をなくし、沖縄をとり返し、生活をよくする全民主勢力の統一を」と題する三八単産アピールを発表し、選挙での日共の躍進と日共を軸とする統一戦線の結成を呼びかけた。

七十年三月、先のアピールに名をつらねた組合を中心、「全民主勢力の統一促進労働組合懇談会」を結成。この組織は統

右翼的再編が具體化するにしたがって、
一躍ブルジョアマスコミの脚光をあび、
相對的「左派」に位置してきた。すなわち
七九年十二月、統一労組懇年々会は、
同盟主導の労戦の右翼的再編（上）の方

「をめざし、事実上の“旗上げ”をしたのである。

体制内危機と右翼的統一】
「八十年代の、もっとも憂うべき問題は
社会党の裏切りです。……公明党の反共
主義に』として、共産党を政権から排除

期や方法を
にすれば、
りたてて反
するに及ば
い〔社会評

No.	組
1	○全日本医療労働組合
2	○日本國家公務員組合
3	○全日本労作建設
4	○日本新聞労働組合
5	○全日本運輸組合
6	全印刷出版労働組合
7	映画演劇労働組合
8	○全國農業協同組合
9	全日本損害保険組合
10	○全國自動車労働組合
11	○日本高等学校組合
12	全国生活協同組合
13'	全国信用金庫組合
14	日本出版労働組合
15	日本民間労働組合
16	農村労働組合

1 日本日本通運
1 8 全国広告労働組合
1 9 全国相互銀行連合
2 0 日本道路公社
2 1 日本住宅公社
2 2 ○全国鉄道労働連合
2 3 全日本商業労働連合
2 4 全国総合職業連合
2 5 全国証券労働組合
2 6 水資源開発公社
2 7 日本国子力研究会
2 8 外國銀行從業員連合
2 9 ○地方銀行從業員連合

一労組懇の前史と動向

流れにあつて、七九年から今日にかけて「基本構想反対・準備会不参加」をかかげ相對的「左派」の位置を示してきた。この日共一統一労組懇の「左派」性は、真に労働者階級の解放・社会主義革命にむけたものだろうか。断じて否である。あわせて「新ナショナルセンター」作りは階級的原則のあいまいな「資本からの独立・政党からの独立・要求の一一致にもとづく行動の統一」という、改良主義的なブルジョア的ギマンでもって、労働者を永遠に貨金奴隸の鉄鎖につなぐものである。一方、昨秋以降の労戦の右翼的統一に反対する戦闘的な労働者による全国的な闘いは、社共一統評労働運動の歴史的解

主体・崩壊を舞台に、古い議会主義・改良主義にとつてかわる革命的・階級的な部隊の登場の可能性を示した。この闘いは、第六回全国労働者討論集会で「階級的労働組合運動の行動綱領づくり」の決定へとうけつけられた。工場・地域・産別で、現下のし烈な攻防戦を闘い、論争と実践ををして、階級的労働組合運動の旗印をかかげることが急がれている。

日共一統一労組懇の本性を明らかにするための批判は、この意味からも重要な課題であり、修正主義・日和見主義・改良主義との分裂と、かしやくない闘争がすでに大衆的に、大規模に、不可避にすすんで、みつつあることを示すものです。

統一労組懇の動向と台頭は、日共が、全協(五五年)で修正主義に転落して以來の議会主義・改良主義・平和革命路線から引き出せる。綱領からプロレタリアシテイ裁、マルクス・レーニン主義を放棄し自由と民主主義を旗頭におく党に変質し議会内で議席をますのに必死になつて、た日共は、七三年「民主連合政府」綱領を発表している。これは社公を対象とするもので、七四年の池田・宮本会談によると、「創共十年協定」がその足がかりであつた。さらに七四年からの「保革伯仲」状況中で、七六年には「よりましな政府」を唱じ、金融独占資本への忠誠を誓つたのである。しかし社・公の右旋回、社会主

するという点です。……社公民三党が共グループをつくつても、それが八十年代前半に政権をとる多数を形成できなことを一致して認め、少なくとも自民の勢力の相当部分とも連合するのが当前提となるつているということです」(田耕一郎、八十年代の展望と労働者階級の責務)。

ここには、社共を中心とした連合構想の破産からの危機感と、展望なき状態が示されている。こうした中で、日本は革新統一戦線の新たな強化、議会内外の議席の増加、次なる「八十年代民主合政府構想」へすすもうとしているのが、この革新統一戦線の三目標(①日米

八年臨時号十六ページ)といわれてゐるよう、議会主義・改良主義につぶされでいる。

さる三月の社会党第四回党大会で「左派」系執行部が選出され、日共が期をよせたとしても、当面、総評の崩壊、分裂の中で社共の関係修復は見込みがなれど、日共の社公民批判の激化も、相対的定期に社会党とともに「平和と民主主義」「人民的議会主義」でブルジョア民主主義をようごし、金融資本の專制支配を補してきただ共が、「戦争と革命の時代」激化の中で、社公民ど先を争つて金融資本の直接の代理人にならうとしてるのであり、結局のところ、ブルジョア主義全般、大工場、大商業、上層階級

日共統一労組懇を批判する



日本の労働組合運動の「本流」を自称し、「新ナショナルセンター」づくりを急ぐ、日共一統一労組懇運動が活発化している。

この十四日には、金属・中小企業・一般、化学、印刷、港湾、造船等の民間“あり方懇

二、議会主義を「左」から補完

単組は、別表の通りである。

一五〇万を公称する統一労組懇は、組織人数だけから見れば中立労連を上回り、総評・同盟につぐものとなつてゐる。しかし組織実態から見ると基幹産業部門でなく、サービス業と公務員が主である。戦後の産別会議が電気・石炭・国鉄・郵便・電話・新聞・放送・重化学工業の基幹部門を組織していたことから見れば遠く及ばない。このことの中に、統一労組懇が日共の革新統一戦線の労働組合部隊であることが見てとれる。

「新ナショナルセンター」づくりの動向を強めている統一労組懇は「準備会参加」をめぐる総評大会で運輸一般、建設一般

全日自労が異つた態度をとつたこと、さらには「旗上げ」するとしても一五〇万とべてが参加する保障はなく各単産・単内部での分解・分裂はさけられない。公労についても、全勤労型(少數分裂)組織分裂をしかけるのかどうかに對しても、内部で対立がくすぶつているようだ。こうした要員をかかえながら、統一組懸は次の方針をうち出してゐる。

(1) 春闘における獨自行動の強化。

(2) 軍事費を削つて、くらしと福祉、教育の充実を要求する国民大運動の推進。

③ 統一労組懸の政策的影響力の拡大
(いわゆる 民主的規制、民主的財政

(4) 統一労組懇の組織的影響力の拡大
(地域統一労組懇の確立、未組織共同センターをテコとした未組織労働者の組織化)。

日共の、革新統一戦線の労働組合運動部における基盤として、準備されてきた統一労組懇は、日共の労働組合政策の実行者として独自の集会、請願署名、選挙闘争の道等、まさしく集票機能の拡大をめざす部隊へ純化することを運命づけられていたる。

No	組合名	組織人員	系統
1	○全日本医療労働組合協議会(医労協)	1 3 0 5 7 2	總評
2	○日本國家公務員労組連合会(國公勞連)	9 0 8 7 4	
3	○全日自力建設一般労働組合(建設一般・全日自労)	8 1 5 3 2	
4	○日本新聞労働組合連合会(新聞労連)	4 3 1 9 0	
5	○全日本運輸一般労働組合(運輸一般)	1 7 2 3 2	
6	○全国印刷出版産業労組連合会(印連総連)	1 5 4 5 1	
7	映画劇場労働組合連合会(映総連)	2 9 3 4	中立方連
8	○全国農業協同組合労組連合会(農協労連)	9 1 7 1 8	純
9	○全日本損害保険労働組合(全損保)	3 2 0 3 2	
10	○全国自動車交通労組連合会(自交総連)	3 2 3 6 3	
11	○日本高等學校教職員組合(日高教・左派)	3 0 7 4 7	
12	○全国生活協同組合労組連合会(生協労連)	1 4 1 2 8	
13	○全国信用金庫労組連合会(全信連)	1 3 6 7 2	
14	○日本出版労働組合連合会(出版労連)	1 3 3 0 6	中立
15	○日本民間放送労組連合会(民放労連)	1 0 0 5 2	
16	○農村労働組合全國連合会(農村労連)	1 0 0 0 0	
17	○全日本倉庫運送労働組合連盟(全倉連)	8 8 9 4	
18	○全国広告労働組合協議会(広告労協)	7 5 0 0	
19	○全国相互銀行從組連合会(全相銀連)	6 6 6 4	
20	○日本道路公社労働組合(道公労)	5 7 2 6	
21	○日本住宅公社労働組合(日住労)	3 8 1 8	
22	○全国勤労力軍組合連合会(全勤労)	3 5 0 0	
23	○全日本商業労働組合(全商業)	3 5 0 0	
24	○全國綜合職業訓練校労働組合(全総訓)	3 4 2 4	
25	○全国証券労働組合協議会(全証労協)	2 0 0 0	
26	○水資源開発公社労働組合(水資源)	1 5 9 7	
27	○日本原子力研究所労働組合(原研労)	1 4 0 0	
28	○外銀銀行從業員組合連合会(外銀連)	1 2 0 0	
29	○地方銀行從業員組合連合会(地銀連)	6 1 0	

現代修正主義と闘い社会

代民主連合政府構想を呼号しようとも、日共がブルジョア民主主義を美化・ようごし、ブルジョア階級独裁の補完物であることに何らかわりはない。だから、統一労組懇のはたす役割とは、うした方向に吸引していく労働組合づけをはじめ、そのままで労働戦線統一の母体とはなりえない重大な欠陥をも

「総評が社会民主主義政党支持の義務づけをはじめ、そのままで労働戦線統一の母体とはなりえない重大な欠陥をも

できない」(八回大会、六一年七月)。

「反共」総評などれこみをはかったのであるといつづけた。

つまり、占領軍に降伏し、武装解除して、台としている。

選挙機能にまつたく従属する統一労組

こうした、統一労組懇を軸にした「新ナショナルセンタ」づくりは労働者に何をもたらすであろうか。統一労組懇じしんは、革新統一戦線の推進であるといい、また「階級的ナショナルセンタ」はすべての労働者、労働組合に門戸を開いている。「われわれは一言でも、この統一労組懇を切り換えてナショナルセンタ」にしようといったことはありません」(八一年十二月臨時総会)といつてはいるが、日共一統一労組懇が軸になることは疑いもない。

日共は、「新ナショナルセンタ」づくりについて以下のようになべてはいる。

「労戦統一」の事業は、単純に、労働組合の複数の全国組織を合流させて、より大きな組織をつくることを目的とした事業ではない。それは国家独占資本主義のもとで、独占資本とその政府という、組織された強大な敵にたちむかう労働組合運動が、労働者の経済的・政治的諸要求の実現のために、その組織と行動を階級的・民主的ナショナルセンタに対する批判、産別会議崩壊以降の総評依存の反省の中で、八回大会、十回大会をへて、いわゆる階級四つの政策と、階級的ナショナルセンタの「三原則」を規定するものである。

「労働戦線の統一」という大きな目標と原則から見るならば、社会党支持という特定政黨を重大なわくとしている現状のまでは、たんに相対的に、大きい組合組織というだけで、総評をそのまま、労働戦線の統一の母体として評価することができない」(八回大会、六一年七月)。

「総評が社会民主主義政党支持の義務づけをはじめ、そのままで労働戦線統一の母体とはなりえない重大な欠陥をも

できない」(八回大会、六一年七月)。

「反共」総評などれこみをはかったのであるといつづけた。

つまり、占領軍に降伏し、武装解除して、台としている。

選挙機能にまつたく従属する統一労組

つては、政治と経済を分離するもので

りであり、議会主義・改良主義の枠内で

の労働貴族どもの分裂抗争の結果でし

かない。

戦争の道へすむ労戦の産報化を左から補完するものである。「新ナショナルセンタ」づくりとは、労働者の闘いをこ

うした方向に吸引していく労働組合づ

けをはじめ、そのままで労働戦線統一の母体とはなりえない重大な欠陥をも

できない」(八回大会、六一年七月)。

「反共」総評などれこみをはかったのであるといつづけた。

つまり、占領軍に降伏し、武装解除して、台としている。

選挙機能にまつたく従属する統一労組

つては、政治と経済を分離するもので

りであり、議会主義・改良主義の枠内で

の労働貴族どもの分裂抗争の結果でし

かない。

戦争の道へすむ労戦の産報化を左から補完するものである。「新ナショナルセンタ」づくりとは、労働者の闘いをこ

うした方向に吸引していく労働組合づ

けをはじめ、そのままで労働戦線統一の母体とはなりえない重大な欠陥をも

できない」(八回大会、六一年七月)。

「反共」総評などれこみをはかったのであるといつづけた。

つまり、占領軍に降伏し、武装解除して、台としている。

選挙機能にまつたく従属する統一労組

つては、政治と経済を分離するもので

りであり、議会主義・改良主義の枠内で

の労働貴族どもの分裂抗争の結果でし

かない。

戦争の道へすむ労戦の産報化を左から補完するものである。「新ナショナルセンタ」づくりとは、労働者の闘いをこ

うした方向に吸引していく労働組合づ

けをはじめ、そのままで労働戦線統一の母体とはなりえない重大な欠陥をも

できない」(八回大会、六一年七月)。

「反共」総評などれこみをはかったのであるといつづけた。

つまり、占領軍に降伏し、武装解除して、台としている。

選挙機能にまつたく従属する統一労組

つては、政治と経済を分離するもので

りであり、議会主義・改良主義の枠内で

の労働貴族どもの分裂抗争の結果でし

かない。

戦争の道へすむ労戦の産報化を左から補完するものである。「新ナショナルセンタ」づくりとは、労働者の闘いをこ

うした方向に吸引していく労働組合づ

けをはじめ、そのままで労働戦線統一の母体とはなりえない重大な欠陥をも

できない」(八回大会、六一年七月)。

「反共」総評などれこみをはかったのであるといつづけた。

つまり、占領軍に降伏し、武装解除して、台としている。

選挙機能にまつたく従属する統一労組

つては、政治と経済を分離するもので

りであり、議会主義・改良主義の枠内で

の労働貴族どもの分裂抗争の結果でし

かない。

戦争の道へすむ労戦の産報化を左から補完するものである。「新ナショナルセンタ」づくりとは、労働者の闘いをこ

うした方向に吸引していく労働組合づ

けをはじめ、そのままで労働戦線統一の母体とはなりえない重大な欠陥をも

できない」(八回大会、六一年七月)。

「反共」総評などれこみをはかったのであるといつづけた。

つまり、占領軍に降伏し、武装解除して、台としている。

選挙機能にまつたく従属する統一労組

つては、政治と経済を分離するもので

りであり、議会主義・改良主義の枠内で

の労働貴族どもの分裂抗争の結果でし

かない。

戦争の道へすむ労戦の産報化を左から補完するものである。「新ナショナルセンタ」づくりとは、労働者の闘いをこ

うした方向に吸引していく労働組合づ

けをはじめ、そのままで労働戦線統一の母体とはなりえない重大な欠陥をも

できない」(八回大会、六一年七月)。

「反共」総評などれこみをはかったのであるといつづけた。

つまり、占領軍に降伏し、武装解除して、台としている。

選挙機能にまつたく従属する統一労組

つては、政治と経済を分離するもので

りであり、議会主義・改良主義の枠内で

の労働貴族どもの分裂抗争の結果でし

かない。

戦争の道へすむ労戦の産報化を左から補完するものである。「新ナショナルセンタ」づくりとは、労働者の闘いをこ

うした方向に吸引していく労働組合づ

けをはじめ、そのままで労働戦線統一の母体とはなりえない重大な欠陥をも

できない」(八回大会、六一年七月)。

「反共」総評などれこみをはかったのであるといつづけた。

つまり、占領軍に降伏し、武装解除して、台としている。

選挙機能にまつたく従属する統一労組

つては、政治と経済を分離するもので

りであり、議会主義・改良主義の枠内で

の労働貴族どもの分裂抗争の結果でし

かない。

戦争の道へすむ労戦の産報化を左から補完するものである。「新ナショナルセンタ」づくりとは、労働者の闘いをこ

うした方向に吸引していく労働組合づ

けをはじめ、そのままで労働戦線統一の母体とはなりえない重大な欠陥をも

できない」(八回大会、六一年七月)。

「反共」総評などれこみをはかったのであるといつづけた。

つまり、占領軍に降伏し、武装解除して、台としている。

選挙機能にまつたく従属する統一労組

つては、政治と経済を分離するもので

りであり、議会主義・改良主義の枠内で

の労働貴族どもの分裂抗争の結果でし

かない。

戦争の道へすむ労戦の産報化を左から補完するものである。「新ナショナルセンタ」づくりとは、労働者の闘いをこ

うした方向に吸引していく労働組合づ

けをはじめ、そのままで労働戦線統一の母体とはなりえない重大な欠陥をも

できない」(八回大会、六一年七月)。

「反共」総評などれこみをはかったのであるといつづけた。

つまり、占領軍に降伏し、武装解除して、台としている。

選挙機能にまつたく従属する統一労組

つては、政治と経済を分離するもので

りであり、議会主義・改良主義の枠内で

の労働貴族どもの分裂抗争の結果でし

かない。

戦争の道へすむ労戦の産報化を左から補完するものである。「新ナショナルセンタ」づくりとは、労働者の闘いをこ

うした方向に吸引していく労働組合づ

けをはじめ、そのままで労働戦線統一の母体とはなりえない重大な欠陥をも

できない」(八回大会、六一年七月)。

「反共」総評などれこみをはかったのであるといつづけた。

つまり、占領軍に降伏し、武装解除して、台としている。

選挙機能にまつたく従属する統一労組

つては、政治と経済を分離するもので

りであり、議会主義・改良主義の枠内で

の労働貴族どもの分裂抗争の結果でし

かない。

戦争の道へすむ労戦の産報化を左から補完するものである。「新ナショナルセンタ」づくりとは、労働者の闘いをこ

うした方向に吸引していく労働組合づ

けをはじめ、そのままで労働戦線統一の母体とはなりえない重大な欠陥をも

できない」(八回大会、六一年七月)。

「反共」総評などれこみをはかったのであるといつづけた。

つまり、占領軍に降伏し、武装解除して、台としている。

選挙機能にまつたく従属する統一労組

つては

